

中国農業の現在を知る、学ぶ

—東アジア型農業・農村の根幹 家族経営とその組織化—

■趣旨

(社)農山漁村文化協会(農文協)創立70周年、(財)亜細亜農業技術交流協会(亜農交)創立50周年および農文協日中農業交流活動25周年にあたり、東アジア農業・農村発展のあり方を考える記念シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

数千年も続いた家族経営を基本とした東アジア農業は、ここに来て様々な試練を受けるようになり、その農村社会も劇的な変化を遂げようとしています。東アジアの国々には、政治体制、発展段階および国土面積などが異なるものの、家族経営のほかに「分散錯圃」、作物栽培構造および労働力構造などについて多くの共通点があります。そのため、相互に学びあい切磋琢磨することの意義は非常に大きいです。このような姿勢で農文協と亜農交は、長年にわたり中国と農業・農村分野で農家同士をベースに様々な交流を展開してきました。

この度、中国農業の最先端で奮闘されている研究者と実践家である四人をお招きして、東アジア農業・農村の共同発展に寄与する議論を行い、日中農業交流の意義を再認識することを目指します。

■日程

- 期 日 2010年 6月 5日 (土)
午 前 10:00 ~ 12:00 (挨拶・報告)
午 後 13:00 ~ 17:30 (報告・質疑応答・討論)
夜 17:45 ~ 19:45 (懇親会)

■会場

日本出版クラブ会館 3階 (150名程度)
東京都新宿区袋町6番地

■参加費

- 1,500円 (資料代)
3,000円 (懇親会費)

■問い合わせ先

(社)農山漁村文化協会
日中農業交流グループ
担当：張安明・倪鏡・大竹
〒107-8668
東京都港区赤坂7-6-1
TEL. 03-3585-1144
FAX. 03-3585-3668
E-mail : nongye@mail.ruralnet.or.jp
URL : http://nongye.ruralnet.or.jp/

※お申込は裏面へ

報告者・報告内容(予定)

- ◆張 曉山 (中国社会科学院農村發展研究所所長)
「中国の農民組織＝農民専門合作社の多様な展開
—成功の鍵は農民利益向上—
- ◆趙 陽 (中共中央農村工作指導小組弁公室局長)
「30年にわたる中国農村改革の到達点と課題
—家族経営の意義と農民組織化を中心に—
- ◆趙 亜夫 (元江蘇省鎮江市農業科学研究所所長)
「句容市戴莊村農民合作社の成功
—村の8割が結集、有機農業を实践—
- ◆万 建民 (中国農業科学院作物科学研究所所長)
「中国における稲作の現段階とこれからの方向性
—多収量米と高品質米の發展戦略—

パネリスト

- ◆今村 奈良臣 (亜細亜農業技術交流協会理事長)
- ◆黒澤 賢治 (JA-IT研究会副代表)

— 参加申込書 —

記念シンポジウム「中国農業の現在を知る、学ぶ」

シンポジウムへの参加をご希望の方は、下記の項目に記載の上 **6月1日(火)**までにFAXにてお申し込みください。折り返し「予約済み」の返信をさせていただきます。

※下記のいずれかに○をつけてください。

- ・シンポジウムのみ
- ・シンポジウムと懇親会

氏 名

所 属

TEL

FAX

■ 申込み送信先 FAX : 03-3585-3668

(社)農山漁村文化協会 日中農業交流グループ
〒107-8668
東京都港区赤坂7-6-1
TEL : 03-3585-1144

《 会場のご案内 》

会 場：日本出版クラブ会館3階 会議室

所在地：東京都新宿区袋町6 TEL : 03-3267-6111 FAX : 03-3267-6095

